

システム変更等のお知らせ

(2023.5.1 - 2023.6.30 変更)

1. ハードウェア

1.1 Wisteria/BDEC-01 スーパーコンピュータシステム

縮退運転 (2023年4月1日から継続) ※縮退ノード数は今後変更する可能性があります

debug-o: 768 ノード -> 384 ノード (384 ノード停止)

priority-o: 1,152 ノード -> 384 ノード (768 ノード停止)

regular-o: 5,376 ノード -> 4,608 ノード (768 ノード停止)

1.2 Oakbridge-CX スーパーコンピュータシステム

… なし

1.3 Ipomoea-01 大規模共通ストレージシステム

… なし

2. ソフトウェア

2.1 Red Hat Enterprise Linux 8 (Wisteria/BDEC-01)

➤ Odyssey

FrontFlow/blue (富士通コンパイラ v1.2.37 で構築)	v9.0	(2023.6.23)
FrontISTR (富士通コンパイラ v1.2.37 で構築)	v5.4	
NTchem (富士通コンパイラ v1.2.37 で構築)	v2013_v12.3.0	
PHASE/O (富士通コンパイラ v1.2.37 で構築)	v2021.02	
SALMON (富士通コンパイラ v1.2.37 で構築)	v2.1.0	
SMASH (富士通コンパイラ v1.2.37 で構築)	v3.0.2	
AkaiKKR (富士通コンパイラ v1.2.37 で構築)	cpa2021v001	
GENESIS (富士通コンパイラ v1.2.37 で構築)	v2.0.0	
HΦ (富士通コンパイラ v1.2.37 で構築)	v3.5.1	
ALAMODE (富士通コンパイラ v1.2.37 で構築)	v1.4.2	
FFX (富士通コンパイラ v1.2.37 で構築)	v59.01	
FFVHC-ACE (富士通コンパイラ v1.2.37 で構築)	v0.1	

➤ Aquarius

NVIDIA ドライバ	525.60.13	(2023.5.26)
CUDA Toolkit	12.0	(2023.5.26)
CUDA Aware OpenMPI	v4.1.5 (GCC v8.3.1 + CUDA v12.0 + UCX v1.14.1rc1)	(2023.5.26)
NVIDIA HPC SDK	v23.3	(2023.5.26)
gfarm	2.7.23	(2023.5.26)
gfarm2fs	1.2.17	
oneAPI	v2023.1	(2023.5.26)

➤ ログインノード

gfarm	2.7.23	(2023.5.26)
gfarm2fs	1.2.17	
oneAPI	v2023.1	(2023.5.26)

インストールを実施しました。利用方法については、利用支援ポータルのお知らせ、

またはドキュメント閲覧より利用手引書をご覧ください。

2.2 Red Hat Enterprise Linux 7, CentOS 7 (Oakbridge-CX)

gfarm	2.7.23	(2023.5.24)
gfarm2fs	1.2.17	

インストールを実施しました。利用方法については、利用支援ポータルのお知らせ、またはドキュメント閲覧より利用手引書をご覧ください。

2.3 Red Hat Enterprise Linux 8 (Ipomoea-01)

… なし

3. その他

3.1 Wisteria/BDEC-01 における pjstat コマンド実行時の表示内容の修正について

pjstat コマンド実行時の --limit オプションで表示される BULK_ACCEPT (バルクサブジョブ投入本数) の項目について、現在投入されている本数としてバルクジョブの本数が表示されていたため、バルクサブジョブの本数を表示するように修正しました。

3.2 2023 年度 Wisteria/BDEC-01 の運用について (再掲)

昨今の電気料金高騰に伴い、2023 年度は各システムの電気料金が利用負担金収入を大幅に上回ることが見込まれます。収支を勘案し、2023 年度利用負担金について値上げを実施させていただくこととしましたが、値上げ幅を緩和するため、消費エネルギーの多い Wisteria/BDEC-01 Odyssey の計算ノードについて 2023 年度は一部を稼働停止とします。利用者皆様にはご負担をおかけすることになりますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。2023 年度中に電気料金の状況が好転した場合は、Odyssey の計算ノードの稼働を増やす予定です。

縮退状況 (2023 年 7 月 1 日時点) ※縮退ノード数は今後変更する可能性があります

debug-o: 768 ノード -> 384 ノード (384 ノード停止)
priority-o: 1,152 ノード -> 384 ノード (768 ノード停止)
regular-o: 5,376 ノード -> 4,608 ノード (768 ノード停止)

3.4 Oakbridge-CX サービス終了について (再掲)

Oakbridge-CX スーパーコンピュータシステムは 2023 年 9 月末をもってシステムを停止し、すべてのサービスを終了致します。

Oakbridge-CX サービス終了にあたっては以下の点にご注意ください。

- 2023 年度の Oakbridge-CX のご利用は、最長でも 6 ヶ月間のご利用となります。
- サービス終了後のスーパーコンピュータのご利用につきましては Wisteria/BDEC-01 をご検討ください。
- 通常利用 (一般) にて Oakbridge-CX をご利用の方は「トークン移行」を行うことが可能です。Wisteria/BDEC-01 への移行をご検討の利用者様につきましては「トークン移行」も併せてご参考ください。「トークン移行」についての詳細は Web ページ (https://www.cc.utokyo.ac.jp/guide/application/transfer_token.php) をご参照ください。
- トークン移行をお申しいただく場合は、9 月 26 日 9:00 までにお申しください。期限後の申込はお受けいたしかねます。また、サービス終了時点で残トークンがあったとしても他システムへの移行や返金等はできません。
- ファイルの移行先については、前述の Wisteria/BDEC-01 以外に「大規模共通ストレージシステム (Ipomoea-01)」もご利用頂けます。「Ipomoea-01」についての詳細は Web ページ (<https://www.cc.utokyo.ac.jp/supercomputer/ipomoea01/service/application.php>) をご参照ください。なお、ファイルの移行作業は利用者様ご自身で実施願います。